



ゼリア新薬

Z E R I A

証券コード4559

ゼリア新薬工業株式会社

2009年度(2010年3月期) 決算説明会

2010年5月28日

. 2009年度決算の概要

. 2010年度の取り組み

目次

・2009年度決算の概要

- 2009年度のトピックス
- 決算の概要(連結)
- 財務キャッシュフローの状況

・2010年度を取り組み

- ・業績予想(連結)
- ・主要課題
 - 1 本格的な海外展開の元年
 - 海外売上比率
 - 海外売上高比率25%への戦略
 - アサコール自販体制の拡大
 - ティロツツの2010年度計画
 - 2 医療用医薬品事業
 - アサコールを医薬品事業の収益の柱へ
 - 3 コンシューマーヘルスケア事業
 - コンドロイチン売上高100億円への挑戦
 - ヘパリーゼを第2のナショナルブランドへ
- ・まとめ
 - 2010年度 売上高予想
 - 2010年度 利益予想
 - 主な医療用新薬パイプラインの状況




ゼリア新薬

Z E R I A

. 2009年度決算の概要



- 2009年度のトピックス

<p>ティロツ社を買収、子会社化</p>	<p>9月</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ アサコールの導入元 ➤ 国際展開の橋頭堡に
<p>アサコールを国内市場で上市</p>	<p>12月</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「消化器系スペシャリティファーマ」として下部消化器分野を強化 ➤ アサコールは、医療用医薬品の柱へ
<p>コンドロイチンのTVCM第2弾を開始</p>	<p>6月</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高尾山階段バージョン ➤ 認知度をさらに高める
<p>ヘパリーゼのTVCMを開始</p>	<p>11月</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 関東エリアでのクロスメディア展開 ➤ 第2のナショナルブランドへ
<p>米国HemCon社の止血・創傷治療用品の導入</p>	<p>(4月)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ➤ HemCon社が世界60数カ国で販売

- 2009年度 決算の概要(連結)

(単位:百万円)

	2009年度 実績	
		増減率
売上高	50,745	6.5%
売上総利益	27,461	8.1%
販売管理費	25,876	7.4%
営業利益	1,584	19.6%
経常利益	1,467	7.4%
当期利益	1,001	16.8%
研究開発費	5,865	14.4%

- 財務及びキャッシュフローの状況(連結)

□ 財務の状況

(単位:百万円)

	2009年度期末	増減
総資産	70,971	12,861
純資産	27,995	284
自己資本比率	39.4%	8.3%
一株当たり純資産	676.77円	7.05円

□ キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2009年度	増減
営業活動によるCF	5,858	5,435
投資活動によるCF	15,479	12,116
財務活動によるCF	10,373	7,115
換算差額	19	19
計	771	453
現金等期末残高	3,442	772



ゼリア新薬
ZERIA

. 2010年度の取り組み



2010年度の業績予想(連結)

(単位:百万円)

	2009年度	2010年度 計画	
	実績		増減率
売上高	50,745	54,000	6.4%
医療用医薬品	30,516	31,000	1.6%
コンシューマーヘルスケア	20,027	22,800	13.8%
その他	201	200	0.5%
営業利益	1,584	2,600	64.1%
経常利益	1,467	2,500	70.4%
当期利益	1,001	1,500	49.9%
研究開発費	5,865	6,500	10.8%
売上高比率	11.6%	12.0%	

2010年度売上高予測は当初580億円を計画していましたが、本年4月、仕入先企業と販売先企業の合併により、一部商品の売り上げ約40億円が計上ができなくなり、通期計画を540億円としました。なお、同商品の取引は従来通りおこなわれ、利益に対する影響はありません。

1. 本格的な海外展開の元年

医療用医薬品事業

2. アサコールを医薬品事業の収益の柱へ

コンシューマーヘルスケア事業

3. コンドロイチン売上高100億円への挑戦 ヘパリーゼを第2のナショナルブランドへ

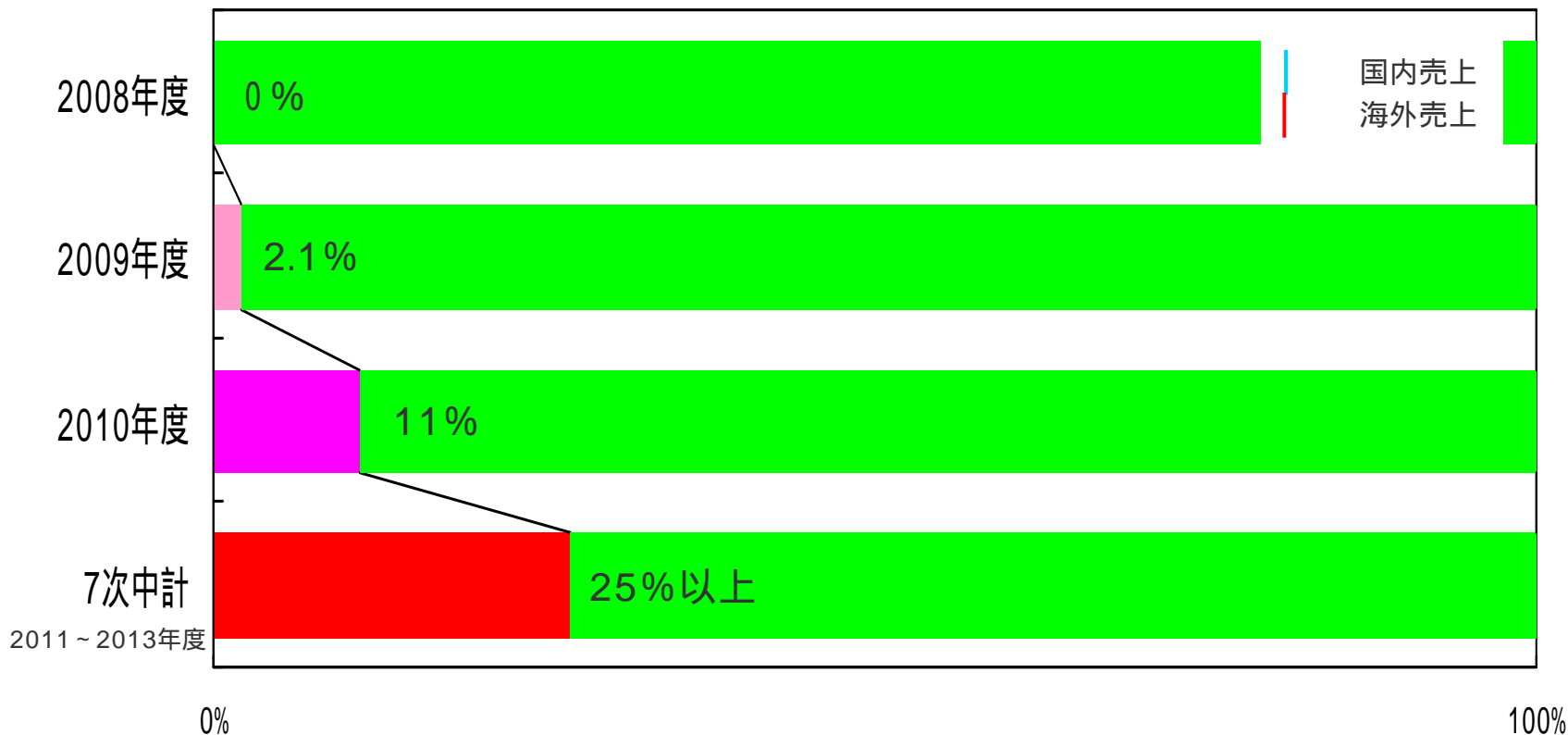
1. 本格的な海外展開の元年

「Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ」



□ 海外展開を本格化

- ティロツツの通期寄与により、2010年度の海外売上比率は10%以上
- 第7次中計で25%以上を目指す



- 1 - 海外売上比率25%への戦略

- 短期: 売上・利益に貢献し、シナジーが得られるM&A・アライアンスの実現
- 短・中期: ティロツツのアサコールの売上拡大
- 中長期: 国際的新薬の開発・上市

短期・中期的課題

	主要課題	その他
ゼリア新薬	<ul style="list-style-type: none"> ● M & A・アライアンスの実現 ● 中国でのアサコールP を実施 ● アジア地域でのアサコールの販売強化 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 韓国: プロマックの上市、OTC医薬品・イオナ化粧品導出 ➢ 台湾: 2010年4月イオナ化粧品販売開始、OTC製品販売強化 ➢ 中国他アジア地域: コンシューマーヘルスケア製品の販売展開を検討
ティロツツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 欧州の自販体制拡大 ● アサコールのバリューアップ (次世代アサコール) 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ゼリア新薬製品の欧州での販売

- 1 - アサコール自販体制の拡大

2009年度実績

- ▶ ノルディック5カ国
(アイスランド、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、
フィンランド)
- ▶ アイルランド

2010年度計画

- ▶ バルト3国(リトアニア、ラトビア、エストニア)
- ▶ チェコ
- ▶ 英国

2011年度以降

- ▶ 順次切り替えを検討

- 2 - ティロツツの2010年度計画

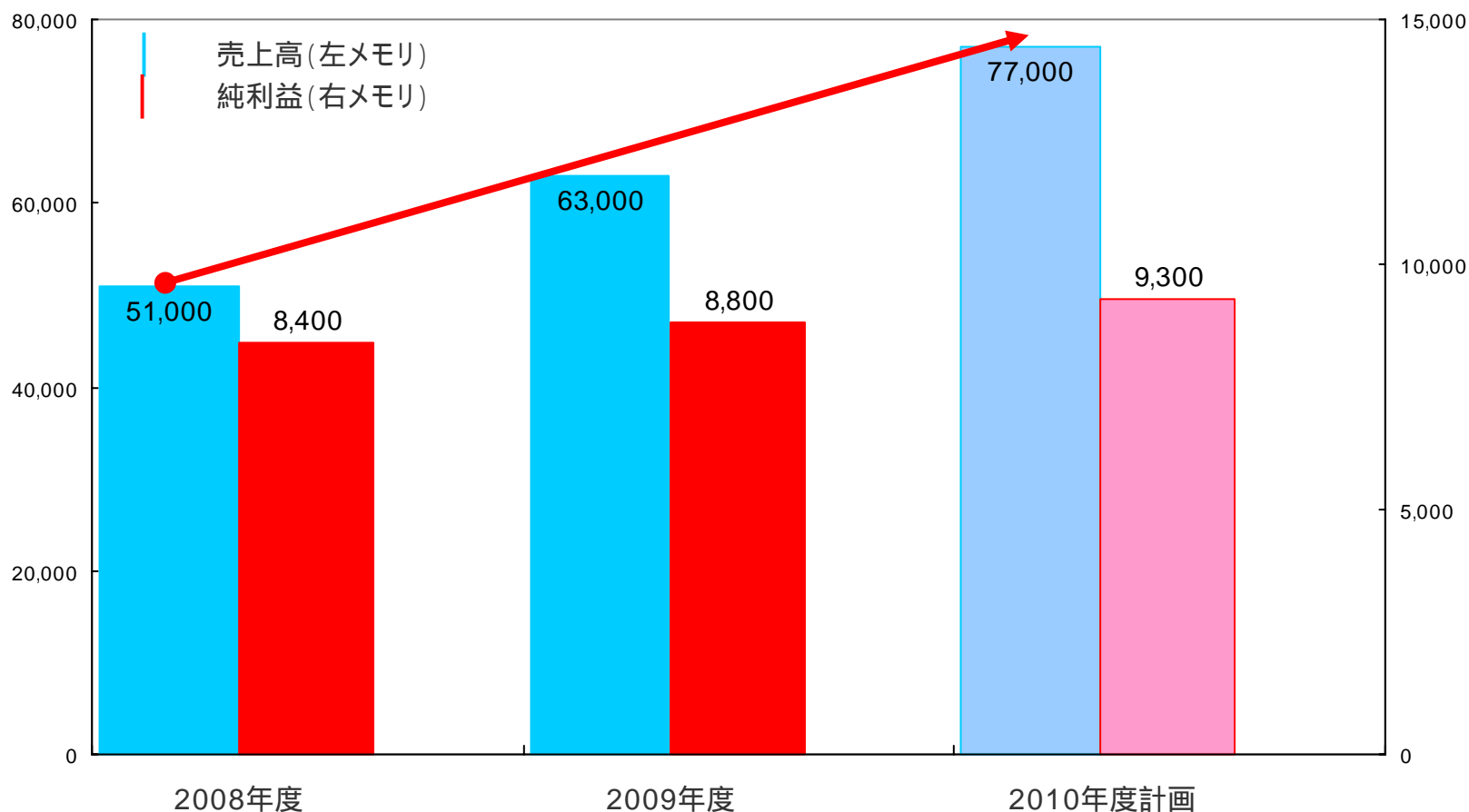
□ 2010年度は売上高77百万CHF(69億円*)、純利益9.3百万CHF(8.3億円*)

➤ 自販体制を展開し、売上高が拡大

* 89円 / CHF換算

(売上高、千CHF)

(純利益、千CHF)



- 2 医療用医薬品事業の課題

医療用医薬品事業

2. アサコールを医薬品事業の収益の柱へ

□ 2011年度までに市場シェア50%の獲得を目指す

「アサコール」は、米国市場では炎症性腸疾患治療剤市場の約5割を占める、世界トップブランド

- ▶ 世界60数カ国での販売実績を持つ
(ティロツツは米国、カナダ等8カ国を除く世界50数カ国で販売)

□ 営業施策

- ▶ 製剤設計の違いによる薬剤の差別化戦略
- ▶ 専門医への情報提供の充実
- ▶ 研究会・学会セミナー・講演会の積極的な開催
- ▶ ティロツツのマーケティング戦略を共有など

- 3 コンシューマヘルスケア事業の課題

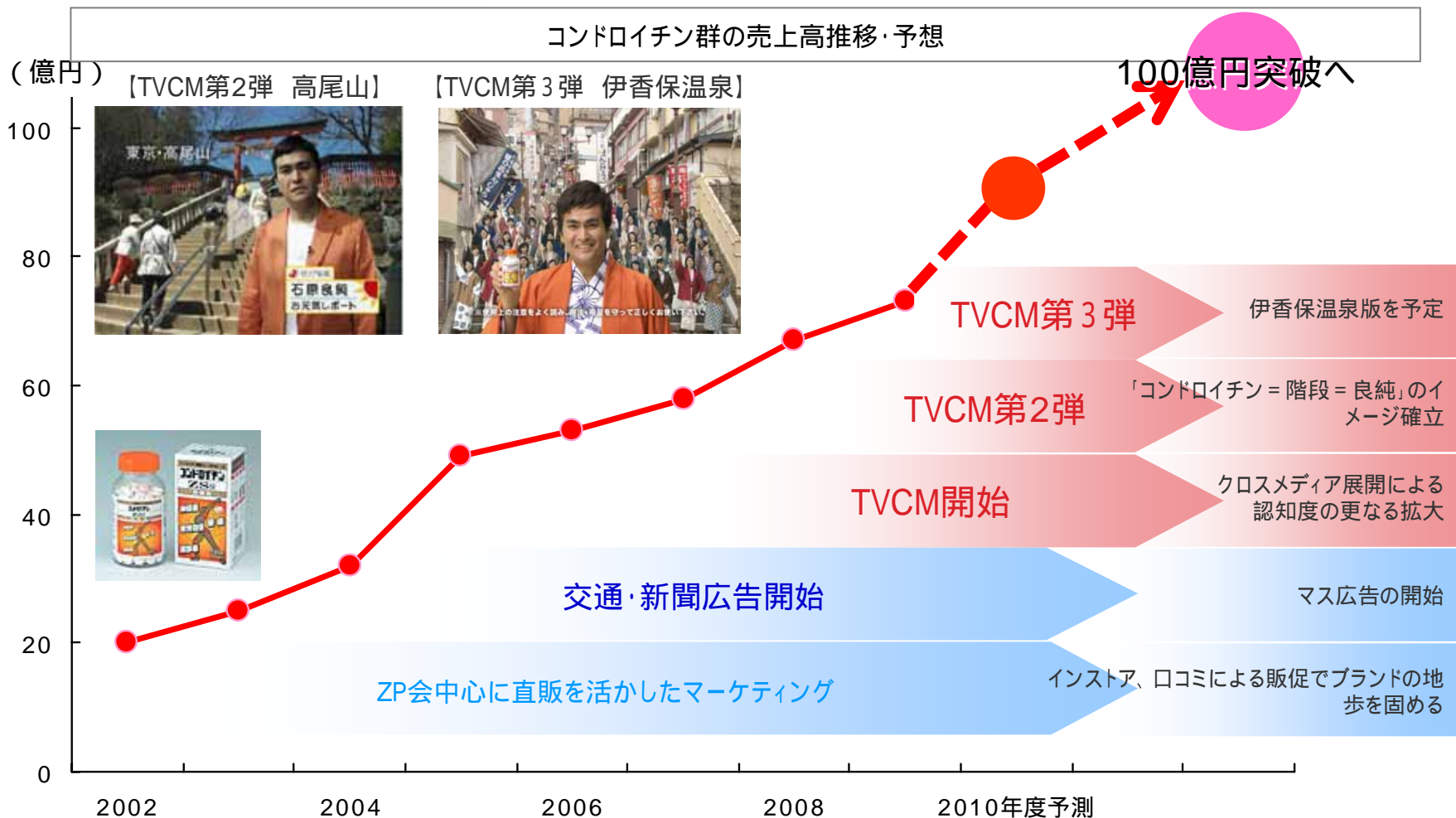
コンシューマーヘルスケア事業

3. コンドロイチン売上高100億円への挑戦
ヘパリーゼを第2のナショナルブランドへ

- 3 - コンドロイチン売上高100億円への挑戦

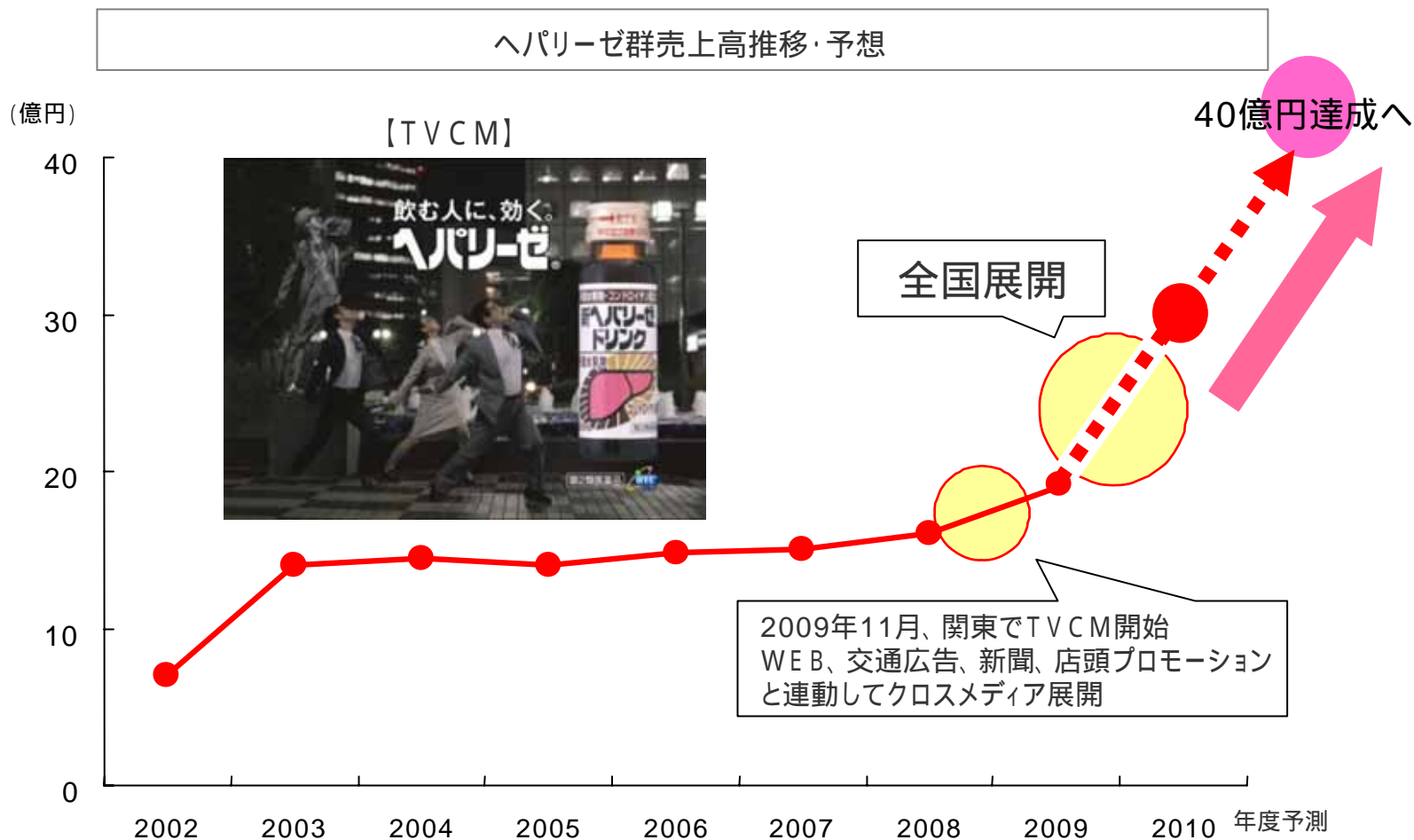
□ 2010年6月からTVCM第3弾開始

- 認知を更に高め、『医薬品のコンドロイチンのゼリア新薬』を強固に
- 市場の拡大とシェア向上により、7次中計には100億円達成を目指す
- 2010年度の計画は90億円



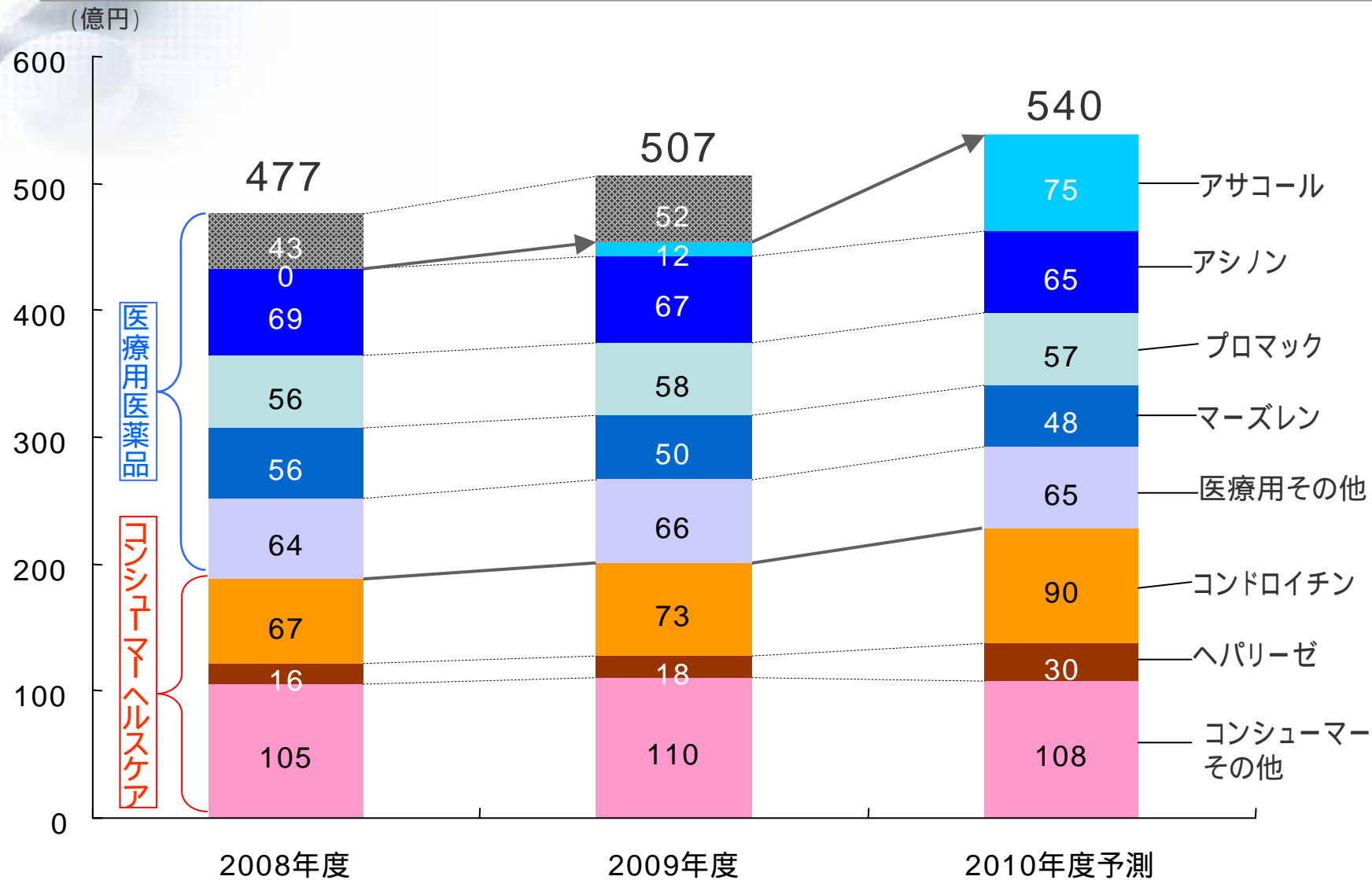
- 3 - ヘパリーゼを第2のナショナルブランドへ

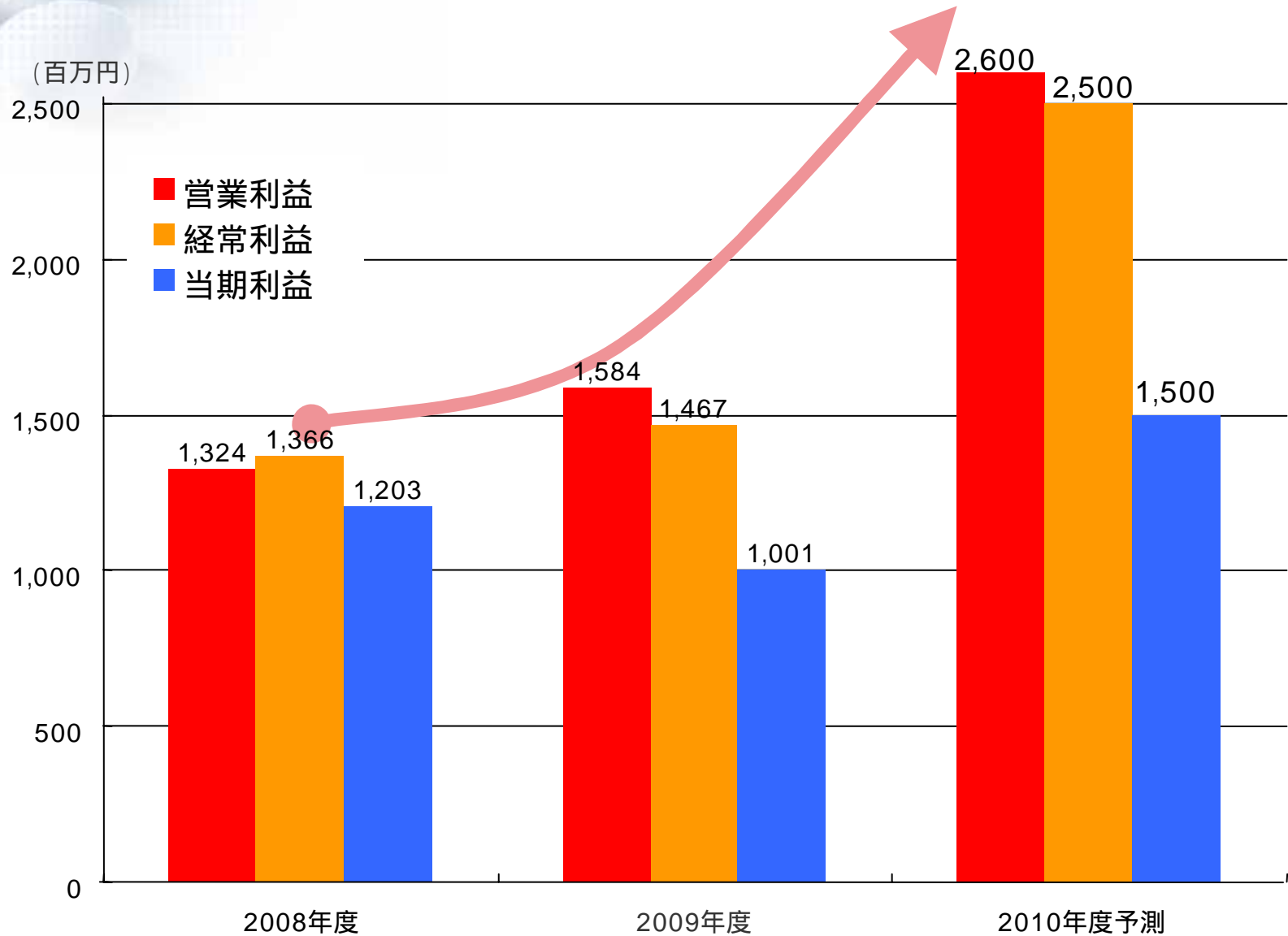
- 2010年7月からTVCMを全国展開
 - ・ WEB、交通広告、新聞、店頭プロモーションと連動してクロスメディア展開
 - ・ 2010年度の計画は30億円



まとめ

- 4 - 2010年度 売上予想(連結)





2010年5月17日現在

開発番号	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名	備考
「国内」 消化器系分野						
Z-209	自社	申請中	大腸内視鏡前腸管洗浄	改良製剤	ビジクリア	導入 「ビジクリア」改良製剤
Z-103	自社	フェーズ	味覚障害	亜鉛補充	ポラブレジンク	導入 「プロマック」効能追加
Z-338	共同開発 (アステラス製薬)	フェーズ	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド	自社オリジナル
Z-208	共同開発 (テムリック)	フェーズ I	肝細胞癌	レチノイン酸RAR 受容体 作動作用	タミバロテン	導入
Z-206	共同開発 (協和発酵キリン)	フェーズ 追加試験	クローン病	pH依存型放出制御製剤	メサラジン	自社グループオリジナル 「アサコール」効能追加
「国内」 その他						
Z-100	自社	フェーズ 追加試験	子宮頸癌	免疫調整作用	-	自社オリジナル 「アンサー」効能追加
Z-207	自社	フェーズ 申請中	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	-	導入
Z-521	自社	開発準備中	低リン血症性くる病	リン酸補給	-	自社オリジナル 未承認薬開発支援対象
「海外」						
Z-103	導出	承認 (韓国)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	ポラブレジンク	導入 「プロマック」
Z-206	自社	フェーズ 準備中(中国)	潰瘍性大腸炎	PH 依存型放出調整製剤	メサラジン	自社グループオリジナル 「アサコール」
Z-338	自社	フェーズ 準備中(欧州)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド	自社オリジナル
Z-338	自社	フェーズ (北米)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド	自社オリジナル



ゼリア新薬

Z E R I A

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先: 広報部 森山まで

Tel. 03-3661-1039 Fax. 03-3663-4203

